

未来社会創造事業 探索加速型探索研究

事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ひとりひとりに届く危機対応ナビゲーターの構築

3. 研究開発課題名

イベント運営とシームレスな危機対応基盤

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

日下 彰宏(株式会社小堀鐸二研究所 構造研究部 次長)

5. 評価結果

既存の情報システムを PaaS とした仕組みを構築することでマルチハザードに対応可能な危機対応システムを目指す本研究開発は、危機対応ナビゲーターに組み込む情報提供手段の要素技術として魅力的な課題であると評価され採択された。

探索研究期間の進捗として、災害時に必要となるワークフローを整備することで実効性のある災害対応マネジメントシステムが構築できることを確認するなどの成果を上げた。

しかしながら本評価時点では、技術のベンチマークの実施が不十分であり既存のシステムとの違いが明確でないなど、まだ課題が残されていることから、探索研究で終了という評価となった。

以上